

施工方法

BAUHAUS ソフトアクアレールの施工

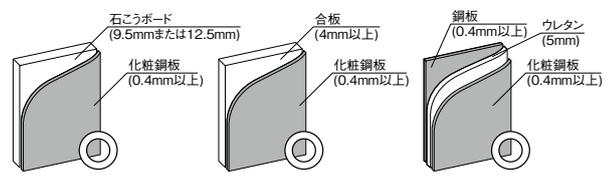
Webサイトから
施工マニュアルをダウンロードできます。
<https://www.firstreform.com>

取付準備

■ソフトアクアレールを取付ける前に、取付け可能な壁の確認をしてください。

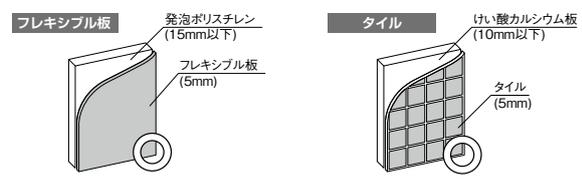
ユニットバス

化粧鋼板 ユニットバスの化粧鋼板壁(鋼板0.4mm以上)



- ブラケット固定** 1個につき5×20mmの短ねじ6本(付属)で取付けできます。
- ベースプレート固定** **別売品** トラストッピンねじ5×20(SAQ-OP6)

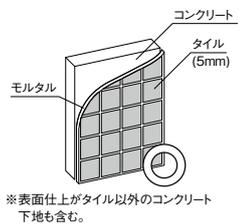
フレキシブル板・タイル フレキシブルボード+発泡ポリスチレン またはタイル+けい酸カルシウム板のユニットバス



- ブラケット固定** **別売品** 中空壁用ねじセット(SAQ-OP8)
- ベースプレート固定** ※ベースプレートは取付けできません。

在来工法

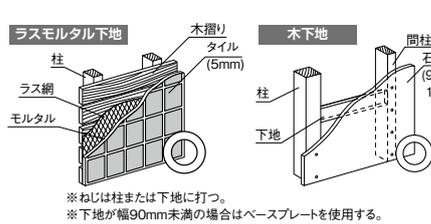
コンクリート下地



ブラケット固定・ベースプレート固定共通
在来工法用ねじ
トラストッピンねじ
5×70(付属)

別売品 オールプラグ

ラスモルタル下地・木下地



ブラケット固定・ベースプレート固定共通
在来工法用ねじ
トラストッピンねじ
5×70(付属)

取付不可能な壁

- ・FRP ・ホーロー
- ・けい酸カルシウム板+石こうボード
- ・天然大理石 ・その他強度不足の壁

※ベースプレートはフレキシブル板及びタイルにも取付けできません。

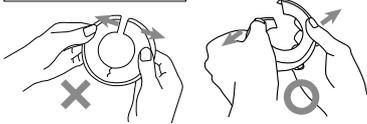
施工上のご注意

- 壁の種類に応じて、指定の取付けねじで止めてください。
- ステンアクアレールを含む他シリーズ、他社製品との併用はできません。
- ベースプレートはソフトアクアレール用スペーサーとの併用はできません。
- ベースプレートは出隅ブラケット、オフセットブラケットには使用できません。
- 過去に生産された一部のユニットバスについて、壁の下地材や壁の基材に石綿(アスベスト)を含有したものを使用しています。施工前には必ずメーカーにご確認ください。

必要な工具

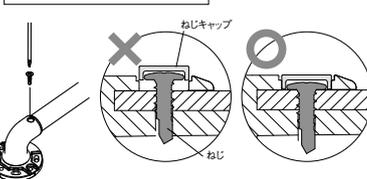
電動ドリル、電動ドライバー、コンベックス、チョークライン、水平器、水準器、鉄工用ドリルビット、ヤスリ、Φドライバー、金ノコ、センターポンチ、かなづち

本体カバーの取付け



※エンドブラケット・オフセットブラケットの本体カバーは、順次スリットのない新仕様に変更されます。新仕様の場合は、手すり棒とブラケットを固定する前に、本体カバーを手すり棒に通しておいてください。(新仕様はP.225参照)

ねじキャップの取付け



※図は旧仕様です。新仕様では、ねじキャップと緩衝しにくいねじ頭に改良されました。在庫がなく、順次切替となります。



施工上のご注意

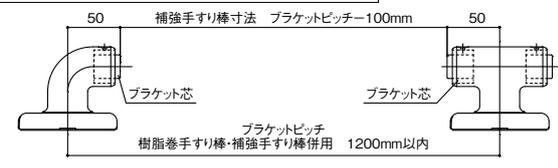
- ねじ頭が浮かないようにとめる。浮いているとねじキャップがしっかり取付けできません。
- ねじキャップのスリットは上図のように手すり棒側にスリットがくるように取付けます。

■ブラケットピッチに合わせて手すり棒をカットします。

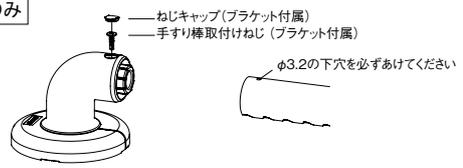
樹脂巻手すり棒 (ST-1・ST-2) のカット寸法



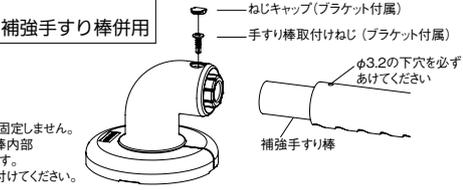
補強手すり棒 (ST-H1・ST-H2) のカット寸法



ブラケットの固定
樹脂巻手すり棒のみ



ブラケットの固定
樹脂巻手すり棒・補強手すり棒併用



※補強手すり棒はねじで固定しません。短くカットすると手すり棒内部でガタつく恐れがあります。必ず上記の寸法で取付けてください。

最新情報は
こちらから



バリアフリー

手すり

屋外用手すり

室内用手すり

トイレ用手すり

浴室用手すり

据置式手すり

手すり以外の商品

感染症対策

玄関

階段・廊下

トイレ

浴室・洗面所

寝室・居間

屋外

バリアフリー

- 金物
- 収納・内装
- 建築資材
- 水まわり
- 防犯
- 耐震・防災
- ペット用品
- 接着・テープ・清掃・補修
- 道具・工具
- お役立ちコーナー
- 豆知識
- ご利用方法

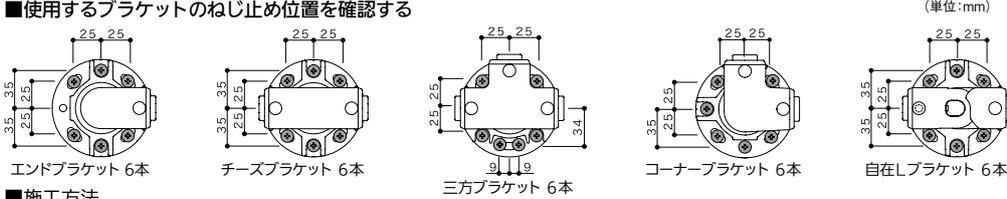


施工方法

BAUHAUS ソフトアクアレールの施工

ユニットバス 化粧鋼板での施工方法

- ブラケット固定ねじ・・・トラスタッピンねじ5×20(付属)を使用
- 使用するブラケットのねじ止め位置を確認する



■施工方法

1. 手すりの取付位置を決める。
ブラケットはパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。
2. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ3mm)をあける。
センターポンチを使用して下穴の中心を出す。施工しやすい、鉄工用ドリルを使用する。
3. 下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。
下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。
4. ブラケットを取付ける。
ねじは必ず手回しで取付ける。強く締めすぎるとねじが空回りし、ガタツキや脱落の原因となる。
5. 本体カバーとねじキャップを取付ける。

■使用できないブラケット

オフセットブラケットは在来工法壁専用の為、ユニットバスには取付けない。

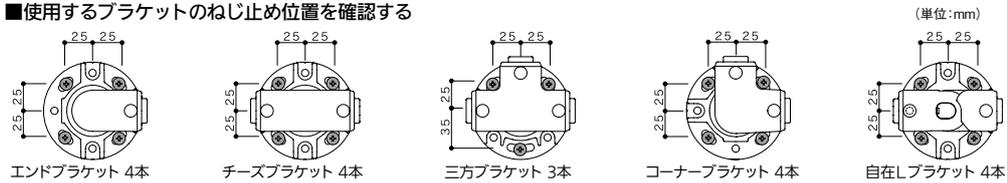


出隅ブラケットは木下地専用の為、ユニットバスには取付けない。



ユニットバス フレキシブル板+発泡ポリスチレン、タイル+けい酸カルシウム板での施工方法

- ブラケット固定ねじ・・・SAQ-OP8(別売)を使用
- 使用するブラケットのねじ止め位置を確認する



■施工方法

1. 手すりの取付位置を決める。
ブラケットはパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。
2. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ6mm)をあける。
タイルの場合は磁器タイル用ドリルを使用する。
3. 下穴の内部に瞬間接着剤を塗布して下穴を補強する。
4. 下穴とブラケットねじ穴にシーリングを行う。
下穴と使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。
5. 中空壁用アンカーを挿入し、アンカーにシーリングを行う。
ブラケットねじ穴を下穴位置に合わせ、中空壁用アンカーをブラケットねじ穴と下穴に挿入し、アンカーにシーリングを行う。
専用角座金を中空壁用アンカーにセットする。
6. ブラケットを取付ける。
角座金がブラケット座にすき間なく当たっている事を確認し、ブラケットを壁にしっかりと密着させて電動ドライバでねじを締める。
ねじ頭がブラケット座に接するまでアンカーは潰れない。
ねじ頭がブラケット座に接してから3秒程締めこむ。
電動ドライバーで5秒以上締めこまない。
アンカーが破損し、ガタツキや脱落の原因となる。
7. 本体カバーとねじキャップを取付ける。

■使用できないブラケット

オフセットブラケットは在来工法壁専用の為、ユニットバスには取付けない。

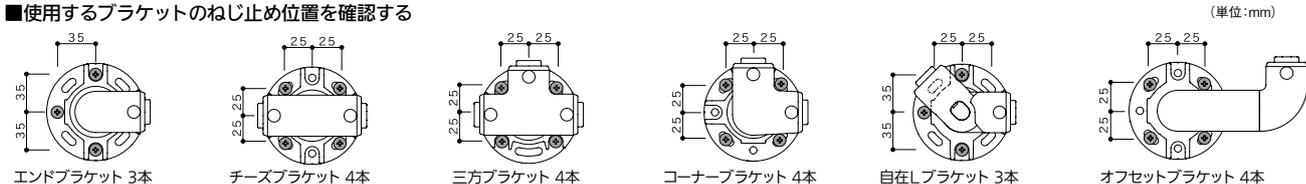


出隅ブラケットは木下地専用の為、ユニットバスには取付けない。



在来工法 コンクリート下地での施工方法

- ブラケット固定ねじ・・・トラスタッピンねじ5×70(付属)・オールプラグMG-8×40(別売)を使用
- 使用するブラケットのねじ止め位置を確認する



■施工方法

1. 手すりの取付位置を決める。
タイルに取付ける場合はタイルの目地位置にねじ止めをすとして施工しやすい。
2. ねじ止め位置をけがき、下穴(φ8mm)をあけ、シーリングを行う。
タイルの場合は磁器タイル用ドリルを使用する。
下穴深さはコンクリート面から55mm。
オールプラグはコンクリート面まで埋める。
3. ブラケットねじ穴とオールプラグにシーリングを行う。
オールプラグと使用するブラケットねじ穴がシリコンで埋まるようにしっかりとシーリングを行う。
4. ブラケットを取付ける。
5. 本体カバーとねじキャップを取付ける。

■使用できないブラケット

出隅ブラケットは木下地専用の為、ユニットバスには取付けない。



施工方法

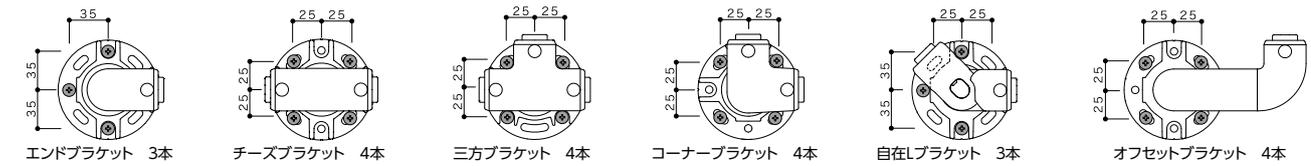
BAUHAUS

ソフトアクアレールの施工

在来工法 木下地での施工方法

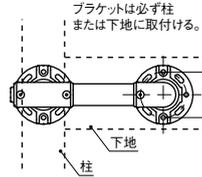
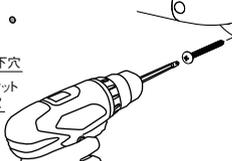
■固定用ねじ・・・トラスタッピンねじ5×70(付属)を使用

■使用するブラケットのねじ止め位置を確認する



■施工方法

1. 手すりの取付位置を決める。

2. ねじ止め位置をけがき、
下穴(φ3mm)をあける。3. 浴室内で使用する場合は
下穴とブラケットねじ穴に
シーリングを行う。4. ブラケットを
取付ける。5. 本体カバーと
ねじキャップを
取付ける。

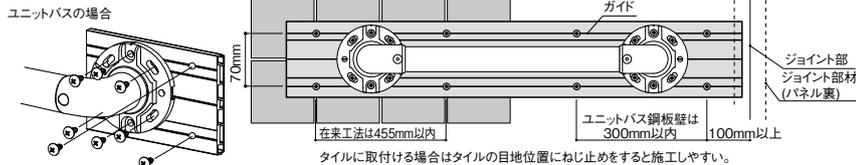
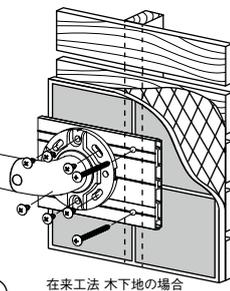
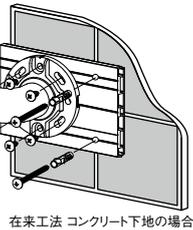
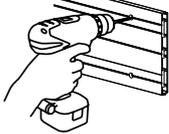
ベースプレート併用時の施工方法

ユニットバス鋼板壁・在来工法共通

1. ベースプレートとブラケットの取付位置を決める。

- ・ユニットバス鋼板壁に取付ける場合、ベースプレートのねじ止め位置はパネルとパネルのジョイント部から100mm以上離す。
- ・在来工法のタイルに取付ける場合はタイルの目地位置にねじ止めをしますと施工しやすい。
- ・ベースプレート取付けねじは端部のガイド位置に固定する。
- ・ブラケット取付け位置はベースプレート固定ねじの内側で取付ける。
- ・ブラケットは同様のねじにて固定する。ブラケットを固定する際の下穴はφ4.2mmである。

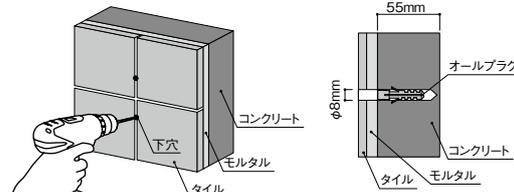
ユニットバスの場合

2. ベースプレートねじ止め位置に
下穴(φ6mm)をあける。ベースプレートにバリが
発生した場合は
ヤスリでバリを落とす。3. ベースプレートを壁に当てて、
壁の下穴位置をけがき、壁に下穴をあける。

ユニットバス 鋼板壁・在来工法 木下地の場合

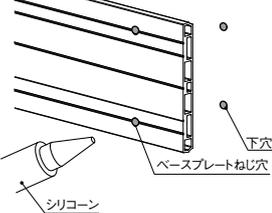
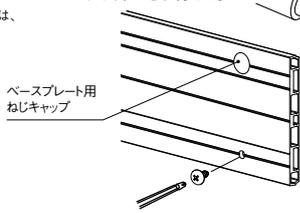
壁に下穴(φ3mm)をあける。
センターポンチを使用して下穴の中心を
出すと施工しやすい。
鋼板壁の場合は鉄工用ドリルを使用する。

在来工法 コンクリート下地の場合

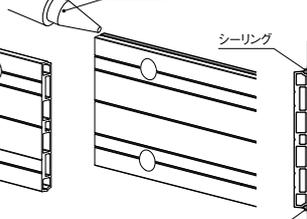
壁に下穴(φ8mm)をあけ、オールプラグを挿入する。
タイルの場合は磁器タイル用ドリルを使用する。下穴深さはコンクリート面から55mm。
オールプラグはコンクリート面に埋める。

4. 下穴とベースプレートねじ穴にシーリングを行う。

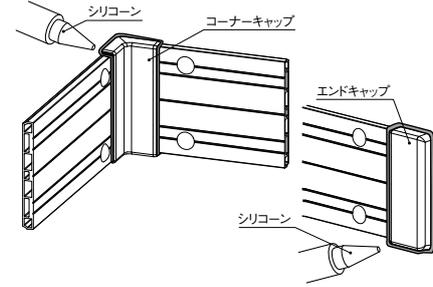
ユニットバス鋼板壁・在来工法共通

浴室以外の壁に取付ける場合は、
シーリングは不要です。5. ベースプレートを取付け、
ベースプレート用
ねじキャップを取付ける。

6. ベースプレート外周にシーリングを行う。



7. キャップをはめて外周にシーリングを行う。

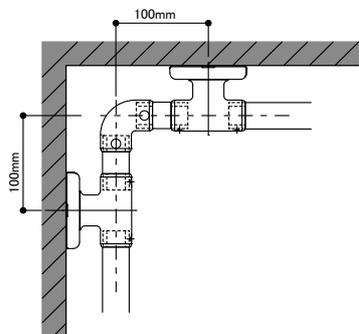


▲ 施工上のご注意

- ブラケットピッチは必ず守ってください。樹脂巻手すり棒のみの場合は800mm以内、補強手すり棒を併用の場合は1200mm以内。このピッチを守らないと、手すりが曲がったり、ねじゆるみの原因になります。
- ベースプレートを取付ける場合はねじピッチを必ず守ってください。ベースプレートのねじピッチは300mm以内。このピッチを守らないとベースプレートが曲がったり、ねじのゆるみの原因となります。
- 水まわりのご使用では、必ずシリコンでシーリングしてください。ねじ穴、ベースプレートの四周、エンドキャップ、コーナーキャップの四周等は十分にシリコンでシーリングしてください。
- 壁裏の配管等はさけて取付けてください。ブラケット及びベースプレート取付け面の壁裏に給水・給湯、電気配管がないことを確認してください。●屋外や常時水に接する場所には取付けしないでください。
- ユニットバスに取付ける場合、パネルのジョイント面にはブラケットを取付けしないでください。パネルのジョイント面から100mm以上あけてブラケットを取付けてください。

Lコーナーの施工方法

持寸法はブラケット芯から100mm。



■ベースプレート取付け用ねじ

ユニットバス 鋼板壁の場合

固定ねじは、トラスタッピンねじ5×20(別売)を使用する。
※ねじはブラケット付属品を使用しても良い。

在来工法 コンクリート下地の場合

固定ねじは、トラスタッピンねじ5×70・オールプラグ(別売)を
使用する。
※ねじはブラケット付属品を使用しても良い。

在来工法 木下地の場合

固定ねじは、トラスタッピンねじ5×70(別売)を使用する。
※ねじはブラケット付属品を使用しても良い。最新情報は
こちらから

バリアフリー

手すり

屋外用手すり

室内用手すり

トイレ用手すり

浴室用手すり

据置式手すり

手すり以外の商品

感染症対策

玄関

階段・廊下

トイレ

浴室・洗面所

寝室・居間

屋外

バリアフリー

金物

収納・内装

建築資材

水まわり

防犯

耐震・防災

ペット用品

接着・テープ・

清掃・補修

道具・工具

お役立ち

コーナー

豆知識

ご利用方法